

国保連みやざき

vol.9



鵜戸神宮（日南市）



宮崎県国民健康保険
イメージキャラクター
「オレンジくん」

CONTENTS

01 クローズアップ

- 「年頭のご挨拶」

宮崎県国民健康保険団体連合会理事長 清山 知憲 氏（宮崎市長）
国民健康保険中央会会長 大西 秀人 氏

02 NEWS&TOPICS

- 第三者行為求償事務担当者研修会
- 審査事務共助知識力認定試験

03 情報ひろば

04 国保連行事予定（1月～3月）

年頭のご挨拶



宮崎県国民健康保険団体連合会
理事長 清山 知憲

新年 明けましておめでとうございます。

輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

皆様方におかれましては、日ごろから、本会の事業運営に対しまして、格別のご理解とご協力をいただいておりますことに対し、厚くお礼を申し上げます。

さて、国民健康保険は制度創設以来、すべての国民がいつでも安心して医療が受けられる国民皆保険制度の一翼を担い、地域の医療確保や住民の健康増進に貢献してまいりました。

しかしながら、近年の人口減少や被用者保険の適用拡大などの被保険者の減少に伴って保険料収入が減少する一方、急速な高齢化の進展等により中高年齢者が多く加入し1人当たりの医療費が増加するという構造的な問題を抱える中で、財政面においても厳しい状況におかれています。

このような中、国においては、データヘルス改革を進めており、マイナ保険証の活用による高額療養費の支給手続き等の簡素化や、患者の

診療・薬剤情報等の医師・薬剤師への共有など、国民が適切な医療を受けられる環境を整えることで、国民の利便性の向上や医療費の適正化の取組が行われております。

本会といたしましては、審査支払機能に関する改革工程表に沿って、令和6年1月から国保総合システムのクラウド化を行い、さらには同年4月に国保事業報告システムの共同利用事業を開始し、県・市町村の事務の標準化・効率化に取り組むなど、審査支払機能や保険者支援の強化への対応を適切に行ってまいりました。

これからも、国保を取り巻く環境が日々変化する中、基幹業務である審査支払業務の充実強化の取組はもとより、地方自治体の医療・保健・介護・福祉の分野において本会に求められる役割を十分に果たせるよう、保険者の共同体としての責務を全うしていく所存であります。

本年も、本会事業の運営につきまして、皆様方のお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様方の益々のご健勝、ご多幸を祈念申し上げまして、年頭のご挨拶といたします。

令和7年 元旦



年頭のご挨拶



国民健康保険中央会
会長 大西 秀人

新年あけましておめでとうございます。

令和7年の新春を迎え、一言ご挨拶を申し上げます。

皆さまには日頃から国保中央会の運営に対しまして、ご支援とご協力をいただいておりますことに厚く御礼を申し上げます。

さて、団塊の世代がすべて後期高齢者となる一方で、少子化は歯止めがかからず、生産年齢人口の減少が続いています。こうした人口構造の変化の影響等により、市町村国保の被保険者数も激減するなど、我が国の社会保障制度やその根幹を成す国民健康保険事業を取り巻く環境はますます厳しさを増しております。

このため、国においては、持続可能な社会保障制度の構築を目指した、全世代型社会保障改革が進められており、給付と負担の見直しや、デジタル技術の進展に対応したサービス提供体制の改革等の取組が行われているところです。このような状況の中、本会においては本年、以下の四つの重要課題に取り組んでいくこととしています。

第一に、「審査支払機能に関する改革工程表」に基づき、審査支払業務改革、とりわけ二年目を迎える保守運用費の削減のための国保総合システムの最適化を着実に実施してまいります。

第二に、本年から来年にかけて更改を予定している介護保険審査支払等システム、後期高齢者医療請求支払システム、特定健診等データ

管理システム等のクラウド化について、各システムの品質を確実に確保した上で、円滑なシステム切替に向けて適切な対応を行ってまいります。

第三に、オンライン資格確認等システムの運用やこれを活用した様々な医療・介護 DX の推進に関連する業務に取り組み、保険者の皆様の更なる業務の効率化やサービスの質の向上に寄与してまいります。

特に「全国医療情報プラットフォーム」の構築の取組の中で「介護情報基盤の構築」や「予防接種業務のデジタル化」等について、本会が中心となって積極的に進めてまいります。

また、昨年12月2日より、従来の保険証は新たに発行されなくなり、マイナンバーカードを活用したマイナ保険証を基本とする仕組みに移行したところであり、その円滑な実施に協力してまいります。

第四に、国保データベースシステムの改善・運用や国保・後期高齢者ヘルスサポート事業の実施等、国保をはじめ関係者の皆様がより効果的に事業を実施し、健康寿命の延伸につなげられるよう、国や関係機関との連携を図りながら、環境の整備に尽力してまいります。

このように新しい年においても多くの重要な課題に直面しておりますが、令和7年の干支である柔軟性と適応力を象徴し、再生と変化を意味する「乙巳(きのとみ)」にあやかり、努力を重ね続けながら課題に取り組み、成長と変革の年となるよう努めてまいります。

全国の国保連合会や全国知事会、全国市長会、全国町村会をはじめとする地方団体、国保組合、後期高齢者医療広域連合等の関係団体とも十分に連携を図りながら、保険者等の皆様の業務支援に総力をあげて取り組んでまいりますので、一層のご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が明るく希望に満ちた素晴らしい一年となることを心からご祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

令和7年 元旦

クローズアップ

第三者行為求償事務 担当者研修会

適正な求償事務の推進について

11月27日（水）、本研修会をオンライン会議形式で開催し、市町村・国保組合・県職員 80人が出席しました。

はじめに、札幌市求償専門員で第三者行為求償事務アドバイザーの杉本真希子氏に「保険者として第三者行為求償事務にかかわって」と題して、ご講演いただきました。

続いて、宮崎県福祉保健部国民健康保険課の日高齊子氏に「第三者行為求償事務の県内状況」について、説明いただきました。

最後に、延岡市介護保険課の佐藤日向子氏に介護求償の取組についての説明及び事例を発表していただきました。

杉本氏の講演では、傷病届提出勧奨や求償予告にスピード感を持って取り組むことや求償先を調べてさまざまな対応をシミュレーションすることなど、求償事務の重要なポイントについて説明いただきました。

今後も、国保連合会として求償事務の受託促進及び専門的知識の更なる向上を図ってまいります。



研修会の様子

お問い合わせ先 保険者支援課 求償係
TEL 0985-25-5101/ FAX 0985-31-4388
E-mail: kyusho@kokuhoren-miyazaki.or.jp

審査事務共助知識力 確認試験

審査の充実に向けた取組を実施

12月4日（水）、本会にて令和6年度審査事務共助知識力確認試験を実施しました。

本試験は、質の高い優秀な審査事務共助担当職員を確保することを目的に、審査充実に向けた取組の一つとして、全国の国保連合会職員を対象に、国民健康保険中央会が主体となって年1回実施しています。

試験の内容は、点数表の告示・通知や保険診療に係る一般常識等となっており、審査事務に携わる職員及び嘱託員計 25名が受験しました。

今後も、診療報酬の適正化に資するため、審査事務共助の充実強化を図るとともに、職員の資質向上に努めてまいります。



認定試験の様子

お問い合わせ先 審査第1課 審査管理係
TEL 0985-25-5504 / FAX 0985-25-5642
E-mail: sskanri@kokuhoren-miyazaki.or.jp

後期高齢者医療広域連合通信

不審電話にご注意を！！



保険料の還付や高額療養費の還付といった理由で、市町村職員などをかたった不審電話が発生しており、特に高齢者を狙った不審電話が多くなっています。

よくある事例は次のようなものです。申請期限を過ぎた還付があると言って、急いで手続きをしないといけないと焦らせるものです。

【事例】

『高額療養費の払い戻しが〇〇,〇〇〇円あり、還付手続きの通知を送付しているが、請求が無いため電話した。請求の申請期間が終わっているが、銀行名、口座番号を教えてくれれば還付する。銀行振り込みにするので、この後の手続きは銀行担当者から連絡させる。』

その後、銀行担当者から連絡があり、『これから職員を△スーパーにあるATMに行かせて一緒に手続きする。』と言ってATMに誘導し、『担当者が行けなくなつた。携帯電話で手続きを教えるので、その通りに操作してほしい。』と言って、不慣れな操作により振り込ませるというものです。

その電話怪しくないですか？



市町村担当課や後期高齢者医療広域連合からの電話で、ATMに誘導することは絶対にありません。銀行口座などの説明で不明な点があったり、怪しいと思ったら、住所地の市町村担当課や後期高齢者医療広域連合へ確認の電話をするなどしましょう。

県内の不審電話の事例を広域連合のHPで公表しています。参考にしてください。

◆宮崎県後期高齢者医療広域連合ホームページ
<https://www.miyazaki-kourei-kouiki.jp>

怪しいと思ったら、振り込む前に一旦、確認のお電話を！！



お問い合わせ先

宮崎県後期高齢者医療広域連合 TEL 0985-62-0921

情報ひろば

こくほ随想

2024 年を振り返る

公益財団法人医療科学研究所相談役

江利川 毅

年末恒例の「今年の10大ニュース」はまだ発表されていないけれど、私なりに重大ニュースを振り返ってみたい。

第一に挙げたいのは、1月1日に起こった能登半島での大地震である。地震と津波、さらには大火災もあり、被害は甚大であった。その後、9月には豪雨による被害も重なり、関係者の懸命な取り組みは行われているものの、なお課題山積の状況にある。

私が内閣府事務次官の時、2004年10月に新潟県中越地震が起こった。能登半島地震と同様に、最大震度7を記録し、内閣府の防災部局を中心に災害対応に当たった。内閣府は各省庁からの出向者を中心に組織されているため、防災担当統括官の下にいる担当者約50名は、関係省庁からの出向者で、必ずしも防災対応の経験を持っているわけではない。私とその50人に「阪神淡路大震災の時に防災関係の仕事を担当した人がいるか」と聞いたら、経験者は私と防災担当統括官（局長級）の2人だけだった。内閣府内の経済財政担当部局や男女共同参画局等からも応援を出してもらって対応した。担当した人たちはそれぞれ頑張ってくれた。特に男女共同参画局から現地に派遣された女性職員は、女性の被災者から頼りにされたとのことである。

そのとき私は、災害・防災について知識・技量を持った専任の職員が常駐する組織として、防災庁の必要性を痛感した。そのような意見も言ったが、組織再編は簡単には行われない。2024年10月に内閣総理大臣に指

名された石破茂氏は、専任の大臣を置く防災省の設置を主張している。地方自治体には防災・復興を担当する専任の職員は少ない。ぜひ国で重厚で機動的な組織を創設していただきたいと強く思う次第である。

アメリカの大統領選挙でトランプ氏が勝利したことも、大きなニュースである。トランプ氏の主張をしっかりと把握しているわけではないが、世界の要・リーダーとして従来から果たしてきたアメリカの役割より、アメリカ国・アメリカ国民にとっての利益を大事にする主張が、アメリカ国民に受け入れられたのではないかと受け止めている。ウクライナ・ロシア、イスラエル・パレスチナ等で戦争が繰り広げられている中で、平和的解決に向けてアメリカへの期待は大きい。地球温暖化対策、資源エネルギー問題、食糧問題、宇宙の平和利用など、アメリカの役割への期待も大きい。この先どうなるのか…。わが国のアメリカとの関係のあり方も難しいと思うが、政府レベルでも民間レベルでも十分な情報共有と協力が必要であり、そして両国の関係が建設的に維持されることを期待したい。

国内では、依然として少子化・高齢化への対応が大きな課題であり、そのためにはわが国の経済が力強く成長していくことが必要である。これまでも歴代内閣が挑戦し続けてきた課題であるが、残念ながら、経済面での失われた30年は、同時に少子化問題についても成果を挙げられなかった30年であった。私は、石破総理の掲げる「地方創生」

が、わが国全体としてチャレンジしてみる価値のある政策ではないかと思っている。安倍内閣で地方創生が大きな政策として打ち出され、実際、地方の中には成果を挙げているところも少なくない。残念ながら安倍内閣の後半では他の政策の方に力が分散されてしまったが、ここはもう一度地方創生に力を入れていただきたい。多くの国民は、自分の住んでいる地域が住みやすくあって欲しいと思っている。知恵もアイデアも情熱もある。それをうまく発火させて欲しいと期待している。

来年はどのような年になるか、希望を持てる年になって欲しいと思う。少数与党は、野党の様々な意見に耳を傾け、国民にとってより良い政策を選択していくことが必要である。

丁寧な政策協議と堅実な政策の実施が、良い年をつくり出す原動力になってくれることを期待している。

(記事提供 社会保険出版社)

著者プロフィール



江利川 毅
(えりかわ たけし)

出身地 埼玉県

公益財団法人医療科学研究所理事長

1970年 4月 厚生省入省

1982年 4月 厚生省大臣官房総務課長補佐

1985年 8月 内閣官房内閣参事官

1988年 6月 厚生省年金局資金運用課長

1990年 6月 厚生省年金局年金課長

1991年 7月 厚生省薬務局経済課長

1993年 6月 厚生省保険局企画課長

1994年 9月 厚生省大臣官房政策課長

1996年 7月 厚生省大臣官房審議官(年金担当)

1996年 12月 厚生省大臣官房審議官(老人保健福祉担当)
高齢者介護対策本部事務局長

1998年 1月 内閣官房首席内閣参事官

2001年 1月 内閣府大臣官房長

2004年 7月 内閣府事務次官(2006年7月退官)

2007年 4月 日興フィナンシャル・インテリジェンス
顧問(7月、理事長)

2007年 8月 厚生労働事務次官(2009年7月退官)

2009年 10月 埼玉医科大学特任教授

2009年 11月 人事院総裁(2012年4月任期満了退官)

2012年 5月 公益財団法人医療科学研究所代表理事長
(2024年5月退任)

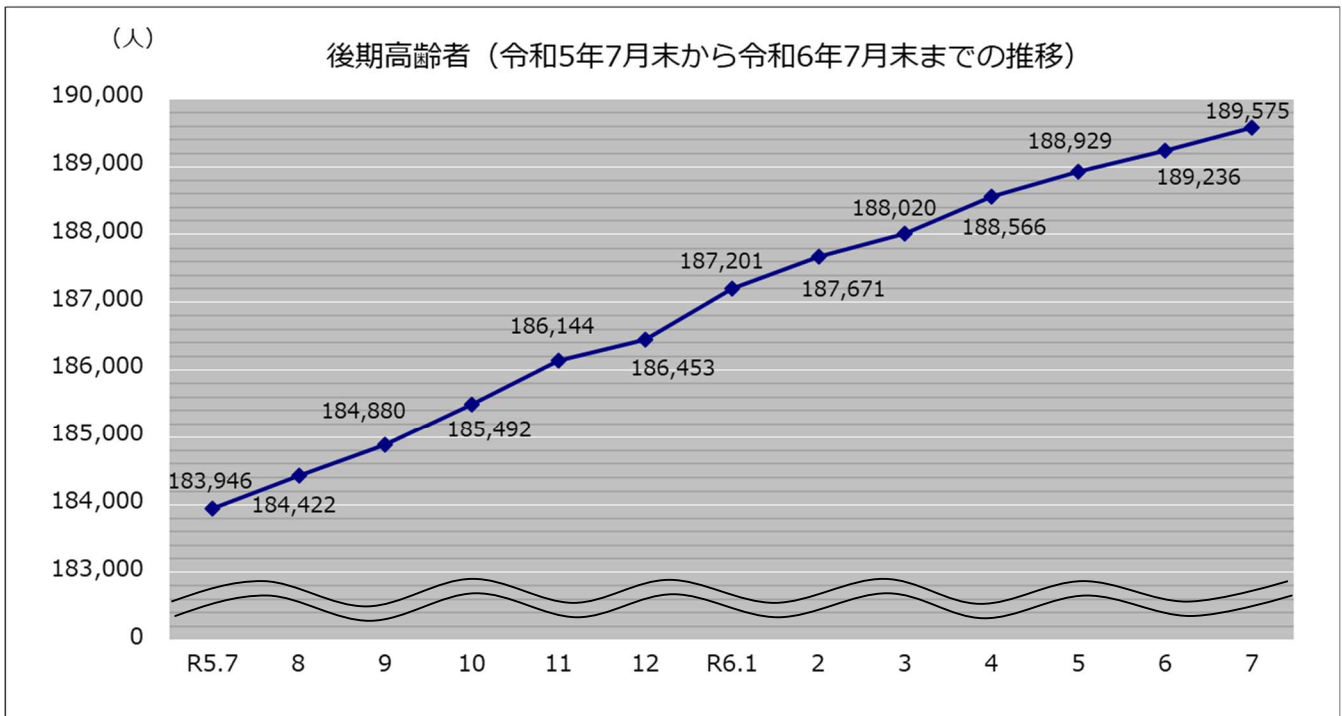
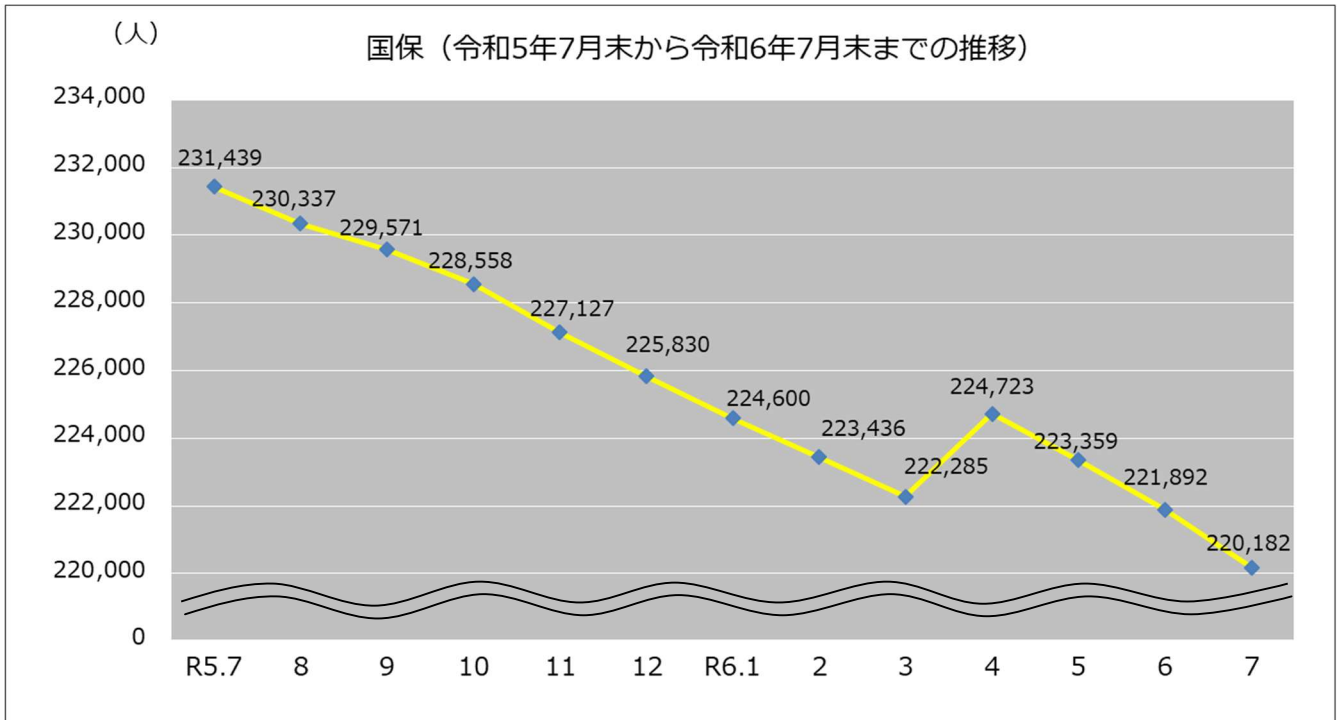
2013年 4月 埼玉医科大学特任教授(現職)

2014年 4月 公立大学法人埼玉県立大学理事長(2018年
3月任期満了退任)

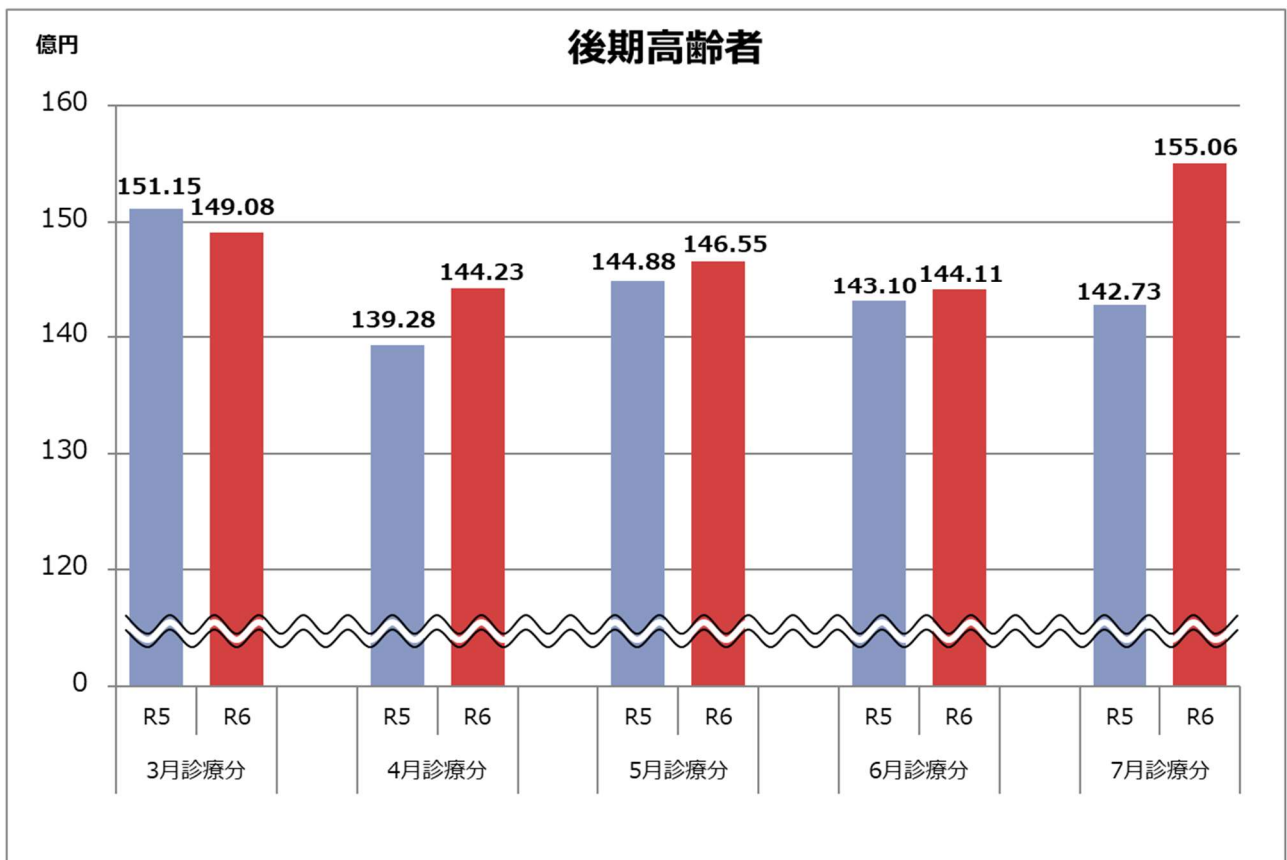
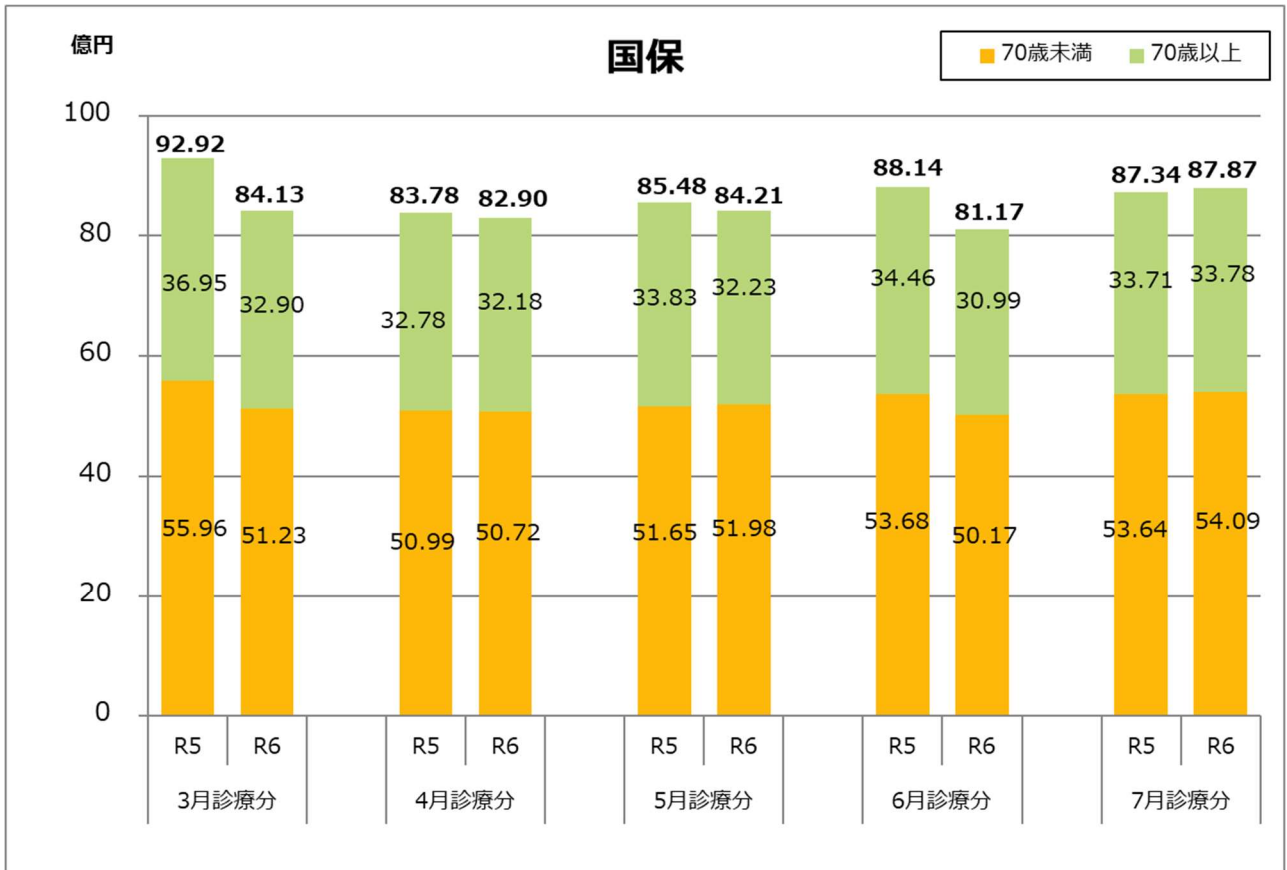
データコーナー

医療費データ

●被保険者の推移



● 月別医療費



●国保 1人当たりの医療費（令和6年3月～令和6年7月診療分）

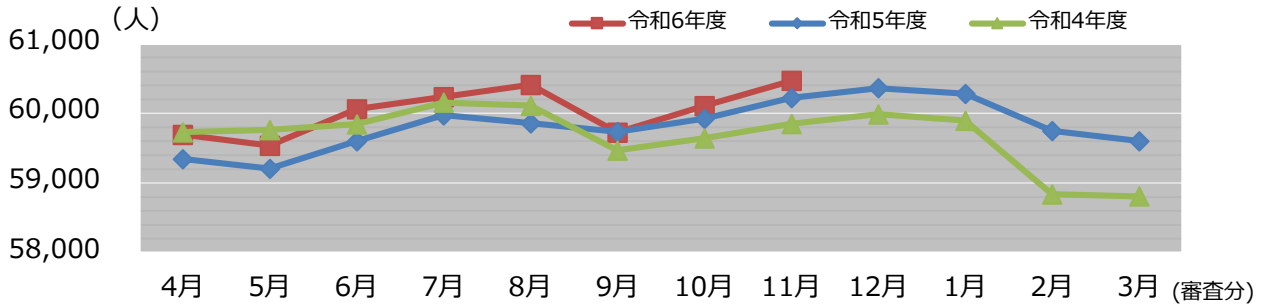
市町村	1人当たり医療費（円）				前年度比（%）
	令和5年3月～令和5年7月		令和6年3月～令和6年7月		
		順位		順位	
宮崎市	180,143	20	176,705	22	98.1
都城市	192,327	14	195,244	13	101.5
延岡市	182,755	19	191,573	14	104.8
日南市	220,199	5	224,708	3	102.0
小林市	195,084	11	206,523	8	105.9
日向市	194,150	13	198,573	11	102.3
串間市	194,606	12	197,400	12	101.4
西都市	179,241	21	187,037	17	104.3
えびの市	204,540	7	203,059	9	99.3
三股町	183,357	18	189,911	16	103.6
高原町	206,399	6	211,856	6	102.6
国富町	179,134	22	183,477	19	102.4
綾町	150,369	26	150,756	26	100.3
高鍋町	178,212	24	189,959	15	106.6
新富町	186,969	16	180,879	20	96.7
西米良村	251,258	1	213,274	5	84.9
木城町	197,092	10	157,826	25	80.1
川南町	178,486	23	173,517	24	97.2
都農町	158,176	25	175,253	23	110.8
門川町	188,389	15	183,684	18	97.5
諸塚村	204,176	8	251,205	1	123.0
椎葉村	184,541	17	200,432	10	108.6
高千穂町	225,178	4	214,283	4	95.2
日之影町	241,801	2	238,417	2	98.6
五ヶ瀬町	197,682	9	177,312	21	89.7
美郷町	231,105	3	207,256	7	89.7
市町村平均	187,550		188,898		100.7

お問い合わせ先 情報・介護課 情報管理係
 TEL 0985-25-5289 / FAX 0985-25-6348
 E-mail:jyouhou@kokuhoren-miyazaki.or.jp

介護保険だより

● 年度別・月別受給者推移

年度別・月別介護保険受給者数推移



介護保険データ (令和6年4月審査分～令和6年11月審査分)

保険者名	確定件数状況			介護給付費 (総合事業を含む)			
	R5.4月～R5.11月	R6.4月～R6.11月	前年同月比	R5.4月～R5.11月	R6.4月～R6.11月	前年同月比	
	確定件数合計	確定件数合計	(%)	給付費合計(円)	給付費合計(円)	(%)	順位
宮崎市	380,004	393,489	103.5	22,423,120,126	23,059,646,491	102.8	6
都城市	171,385	173,319	101.1	10,730,891,623	10,747,107,986	100.2	15
延岡市	134,131	136,163	101.5	8,420,760,149	8,591,492,650	102.0	9
日南市	55,952	56,453	100.9	3,903,143,779	3,992,881,909	102.3	7
小林市	45,984	47,545	103.4	3,509,653,328	3,623,839,211	103.3	5
日向市	41,330	41,620	100.7	3,100,150,379	3,156,225,587	101.8	10
串間市	17,826	16,874	94.7	1,417,321,559	1,325,233,913	93.5	26
西都市	30,111	29,658	98.5	2,386,783,116	2,409,673,849	101.0	14
えびの市	24,148	24,467	101.3	1,758,140,924	1,795,322,964	102.1	8
三股町	21,163	21,329	100.8	1,316,194,874	1,292,956,069	98.2	21
高原町	9,905	9,948	100.4	763,029,169	796,578,454	104.4	3
国富町	20,248	20,436	100.9	1,388,985,908	1,447,499,857	104.2	4
綾町	6,014	6,096	101.4	510,130,161	504,695,428	98.9	19
高鍋町	15,959	14,918	93.5	1,102,268,433	1,046,595,345	94.9	25
新富町	11,479	11,635	101.4	889,744,988	899,662,421	101.1	12
西米良村	860	836	97.2	85,563,441	86,538,623	101.1	12
木城町	5,213	5,528	106.0	434,009,603	423,104,969	97.5	23
川南町	11,707	11,918	101.8	977,009,684	968,414,958	99.1	18
都農町	8,111	9,034	111.4	656,271,794	712,460,019	108.6	1
門川町	14,987	15,288	102.0	920,086,161	897,216,735	97.5	23
諸塚村	1,703	1,818	106.8	145,115,678	144,575,053	99.6	17
椎葉村	2,817	2,740	97.3	230,730,965	241,393,019	104.6	2
高千穂町	12,043	11,896	98.8	938,310,514	939,766,720	100.2	15
日之影町	3,569	3,512	98.4	387,405,793	379,582,442	98.0	22
五ヶ瀬町	3,011	3,037	100.9	289,845,798	294,644,282	101.7	11
美郷町	6,783	6,367	93.9	573,949,341	566,789,573	98.8	20
市町村計	1,056,443	1,075,924	101.8	69,258,617,288	70,343,898,527	101.6	

* 確定件数・給付費は国保連合会審査支払データによる。

* 給付費合計…介護給付費、特定入所者介護サービス費、高額介護サービス費および総合事業費の合計。

* 前年度伸び率は、令和5年度を100とした場合の%の表示。

お問い合わせ先 情報・介護課 介護福祉係

TEL 0985-35-5111 / FAX 0985-25-0260

E-mail: kaigo@kokuhoren-miyazaki.or.jp

情報ひろば

国保連行事予定（令和7年1月～令和7年3月）

●1月

日	曜	行事	場所等
10	金	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
17	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
18	土	国保審査委員会（～22 日）	国保連 本館 4 階大会議室
20	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
21	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
22	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
27	月	国保主管課長会議	オンライン会議形式

●2月

日	曜	行事	場所等
10	月	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
14	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
15	土	国保審査委員会（～19 日）	国保連 本館 4 階大会議室
17	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
19	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
25	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
26	水	理事会・通常総会	オンライン会議形式

●3月

日	曜	行事	場所等
10	月	レセプト受付日	国保連 本館 1 階ライブラリー室、東別館 1 階受付窓口
14	金	柔整審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
15	土	国保審査委員会（～19 日）	国保連 本館 4 階大会議室
17	月	国保審査小委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室
19	水	国保合同審査委員会	国保連 本館 4 階大会議室
25	火	あはき審査委員会	国保連 本館 2 階第 2 会議室

昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性の皆様へ！ 風しんの追加的対策へのご協力をお願いします

●これから生まれてくる子どもを守るために！

妊娠中の女性が風しんに罹った場合、おなかの中の子どもの下に示す症状や障害など（先天性風しん症候群）が見られることがあります。



出典 政府広報オンライン HP

皆で風しんを予防することが子どもを守ることに繋がります。
パートナーとのお子さんや地域や職場内での予防のためにご協力をお願いします。



●宮崎県の風しんの追加的対策（抗体検査）実施状況

宮崎県内での実施状況（平成 31 年 4 月～令和 6 年 11 月）

対象者数※1	112,293 人
抗体検査数※2	32,753 件
抗体検査進捗率	29.2 %

※1 参考：厚生労働省資料より

※2 本会確定件数

健康診断を受ける医療機関や健診機関で、普段の診断項目と一緒に風しん抗体検査を受ける方もいらっしゃいます。
健康診断をこれから受ける方は、ぜひ風しん抗体検査もお考えください。

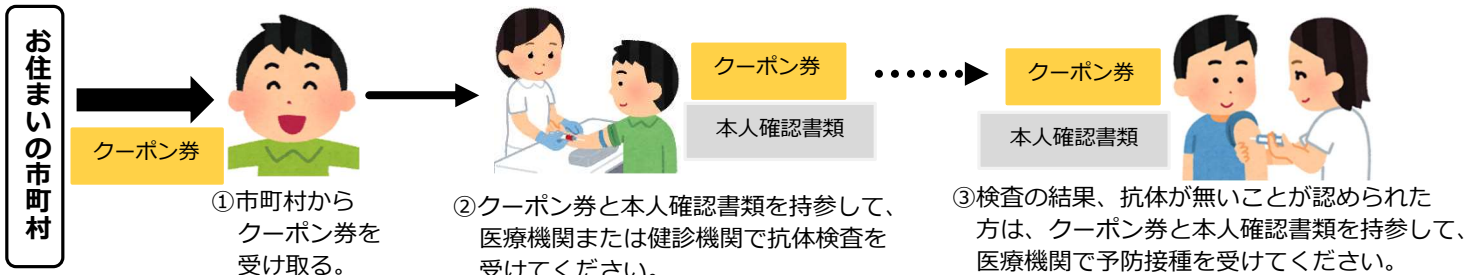


風しんの追加的対策とは

2018 年に風しん患者として届け出された患者のうち男性が約 8 割を占め、中でも 30 代から 50 代の男性に多いことが指摘された。この原因として、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性は、定期接種の機会が 1 度もなく、抗体保有率が低い（免疫が弱い）方が多いことや感染しやすい職場環境に置かれている方が多いなどが考えられる。

そのため、昭和 37 年 4 月 2 日から昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性に対し、抗体検査、予防接種を実施するもの。

●風しんの追加的対策の受診方法



お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp

未来の赤ちゃんを守るため
昭和37年4月2日～昭和54年4月1日
クーポンで無料検査！
生まれの男性は
風しん検査
を受ける必要があります。

フューチャーソノリティ 濱田 特郎
フューチャーソノリティ 木村 つづく

Why? / どうしてこの世代の男性が対象なの?
公的な予防接種を受ける機会がなかったからです。
対象者には原則無料で検査を受けられる無料クーポン券が既に送られています。検査の結果、抗体が少ない方は予防接種も無料で受けられます。職場での健康診断や医療機関でぜひご利用ください。

What? / 風しんとは?
風しんはマスクと手洗いで予防できません。妊婦さんが感染すると、お腹の赤ちゃんの目や耳、心臓などに重篤な影響が出る可能性があるため、社会全体で抗体を獲得することが重要です。しかし、県内で検査を受けた割合は約3割と低迷しています。(2023年5月時点)

僕たちも、受けに行きます!

日本のひなた宮崎県
宮崎県
検査・接種可能な医療機関、
当駅での問い合わせ窓口はこちら▶
風しんの追加的対策 宮崎県 🔍



40歳未満事業主健診データ活用のおしらせ



保険者の
みなさまへ
おしらせです

40歳未満の加入者についても
「健康診断結果の提供依頼」が可能です。*

40歳未満の加入者について
「健康診断結果の提供依頼」をすることの3つのメリット

メリット

1

加入者の健康課題等を把握
することで効率的・効果的
な保健事業が可能に。

(例：地域間や業種間、事業所間の
データ比較、40歳未満の者の生活
習慣病予防対策の提案 等)

メリット

2

コラボヘルス促進

(保険者と事業者等の連携による加
入者の予防・健康づくりの推進)

メリット

3

40歳未満の加入者も、マ
イナポータルで健診結果[※]
の確認が可能に。

※ 特定健診項目のうちマイナポ
ータルに登録された健診結果が確認で
きます。

※ 全世代対応型の社会保障制度を構築するための健康保険法等の一部を改正する法律（令和3年法律第66号）により、40歳未満の加入者についても健康診断結果の提供依頼が可能となりました。



詳しくは WEB サイトへ



イベント用機材貸出のご案内

地域の健康づくりや健康寿命延伸に関する啓発、国保の周知等を目的とした健康まつりなどのイベント活動を支援するため、保険者等のみなさまに以下の機材の貸出しを行っております。

イベントでみなさまとお会いできることをお待ちしております。



■ オレンジくん着ぐるみ

■ 体組成計

体重・体脂肪率、体の部位別の脂肪量、筋肉量などの測定を行うことができます。

■ もの忘れ相談プログラム

モニターに表示される簡単な質問をタッチパネルで答えていくことで、アルツハイマー型認知症の疑いをチェックできます。（※付属のプリンターも貸出ししております。）

■ チェッカーくん（足指力測定器）

下肢機能を把握するために足指の力を測定します。



もの忘れ相談プログラム

■ マイクロ CO モニター（呼吸ガス分析装置）

呼気中の一酸化炭素濃度を測定します。



チェッカーくん

■ ライフレコーダーEX（生活習慣記録機）

日常の運動量や生活習慣を把握することができます。

■ 健康パネル

色々な内容の掲示用パネルがありますので、様々なテーマのイベントに対応した健康パネルをご用意することができます。

■ オレンジタイム DVD

■ のぼり

■ はっぴ

■ テーブルクロス

■ ロールアップバナー



のぼり（5種類）



体組成計



マイクロ CO モニター

ご案内用ウェブページ URL

<https://www.kokuhoren-miyazaki.or.jp/insurance/lending/>

お問い合わせ先 総務企画課 企画調査係

TEL 0985-25-5321 / FAX 0985-83-3359

E-mail: kikaku@kokuhoren-miyazaki.or.jp



使ってみよう！
マイナ保険証

国保はみんなの健康づくりを応援します。

